

# 渡辺学園裁縫雛形コレクション

(わたなべがくえん さいほうひながた これくしょん)

国指定重要有形民俗文化財(民俗資料) 平成12年12月27日指定  
板橋区登録有形民俗文化財(民俗資料) 平成13年3月23日登録

所在地：板橋区加賀1-18-1

東京家政大学博物館

交通：都営三田線「新板橋」駅徒歩12分

JR埼京線「十条」駅徒歩7分

東京家政大学の前身である、東京裁縫女学校と東京女子専門学校の創始者の渡辺辰五郎は、明治7年頃に考案した雛形尺という縮尺定規を用いる裁縫教育を行いました。その内容は、半紙を用いて布の裁ち方などを教えてから、実物の約1/3の雛形（ミニチュア）を作成させるもので、教材費の大幅な節減と一斉教育を可能にしました。また、それは裁縫教育の指導者養成を十分に意識した内容となっており、その後の裁縫教育の普及に大きく貢献しました。

この資料は、その教育課程の中で製作された衣服や生活用具類の雛形作品の一括資料です。明治・大正期において、裁縫教師養成の中核的な役割を担った渡辺学園の裁縫教育の実態を示すとともに、近代における女子教育とその指導者養成の一端を示すものとして大変貴重なものです。

